

『産教連通信』執筆要項

産業教育研究連盟編集部

2013年8月31日

1 記事の分類

本連盟は技術教育および家庭科教育に関する研究とその発展普及を図り、民主的にして平和な教育に寄与することを目的とする。その目的に必要な記事の掲載誌として「産教連通信」を発行する。記事は、以下に分類される。

扉の言葉 産教連通信の巻頭の記事、その時々的情勢や出来事など、内容の限定はない。

一般記事 編集部において必要と認めた記事で、会員への案内や大会報告など。

実践記録 学校などにおいて、授業実践などの報告、記録、まとめなど。

論文 著者は産業教育研究連盟の会員であり、技術教育または家庭科教育に関する研究を収録した原著論文である。投稿規定に従い査読等の手続きを受けなければならない。

連載 編集委員会において、技術教育、家庭科教育に有益なテーマを選定し、依頼された原稿で、連載計画に従って掲載される。

研究会報告 産教連の各サークル活動の報告など。

図書紹介 会員向けの技術教育、家庭科教育に有益な図書の紹介とする。

編集後記 編集者によるあとがき。通信の収録を踏まえた感想などを記す。

2 執筆要項

ページ構成 1ページは、B5判の38文字×38行で構成される。

ページ数の制限 タイトル、見出し、図、表などすべて含んで、概ね以下のページ数とする

扉の言葉 38文字、おおよそ18行。

一般記事 編集部から指定されたページ数とする。

実践記録 6ページ以内。それを越える場合は、編集部の許可を得る。

論文 原則6ページ以内。ただし、8ページまでは認める。

連載 各回4ページ以内。

研究会報告 6ページ以内。それを越える場合は、編集部の許可を得る。

図書紹介 1ページ以内。

原稿 ページ構成に従い原稿はMS-Wordまたはテキストファイルで執筆されなければならない。各原稿の電子データは電子メールにて提出し、加えて割り付けした完成原稿をpdfで添付すること。

写真 写真の大きさは原寸を基準とする。写真の解像度は横幅 1500 ドットまたは 300dpi で、フォーマットは jpg または png とする。写真は、鮮明であること。また、必ず写真の説明文 (caption) と番号を付け、本文中との対応を示すこと。

図・表 鮮明でわかりやすいこと。小さくて見えない文字、単位やラベルを確認すること。また、必ず図、表の説明文 (caption) と番号を付け、本文中との対応を示すこと。フォーマットは tiff, jpg, png とする。大きさは原寸を基準とする。

参考文献 盗作や著作権問題を避けるために、原稿に引用したものは、参考文献として番号を付して必ず記さなければならない。原稿の最後に参考文献を列挙して、おおよそ以下のスタイルに習う。

- 1) 著者 1、著者 2、『書籍名』、p. 102 (1987)、民衆社。
- 2) 著者 1、“ワット驚く蒸気機関車”、『雑誌名』、Vol. 2, No. 395, pp.23-28 (1998)、国土社。
- 3) 産業教育研究連盟、“第 62 次 技術・家庭科教育研究全国大会パンフレット”、(2013)。URL, <http://www.sankyoren.com/taikai/62nd/62taikai.html> (2013/8/1)。

キーワード 原稿の最後には、記事の内容を的確に表したキーワードを最低 5 語、最高 10 語を記さなければならない。このキーワードは、産教連通信の検索システムとして利用される。

例) 木材加工、本立て、道具の使い方、カンナがけ、木材の性質、授業

リスト 写真、図、表の番号リストを作成し、提出する。番号に対応して説明文 (caption)、ファイル名などが正確に一覧されていること。

3 論文の査読

投稿論文は、以下の査読を経て掲載される。

1. 査読は、原著論文としてのふさわしい内容を含んでいること。
2. 既往の研究や文献の引用などが十分であるか。
3. 有益な結論が得られているか。
4. 投稿論文が執筆要項を遵守しているか。
5. 査読者は、3 週間以内に編集委員会に査読結果を報告しなければならない。
6. 査読者は、必要に応じて著者に対して原稿の訂正を求めることができる。
7. 2 人の査読者に原稿を査読して掲載不可が 2 名の場合は、掲載不可とする。2 人とも掲載可の判断が出された場合は、掲載可とする。2 人の査読者の内 1 名が掲載不可の場合は、投稿原稿を 3 人目の査読者に回し、3 人目が掲載可の場合は掲載可とする。

4 原稿送付先

原稿は、次のページの原稿表紙を付けて、以下の編集長・金子宛に電子メールにて提出する。産教連通信編集長 金子政彦宛

E-mail: mmkaneko@yk.rim.or.jp

5 その他

その他、産教連通信において必要なことは、編集部にて判断する。

産業教育研究連盟通信

投稿原稿の表紙

記事の分類 該当項目を○で囲む

1. 一般記事 2. 実践記録 3. 論文 4. 連載 5. 研究会報告 6. 図書紹介
7. その他

タイトル

キーワード (5 語以上 10 語以内)

氏名 (所属)

住所

メールアドレス

Tel & Fax